

2024年度 第10回 WEBアンケート 調査報告書

1 「災害への備え」

総合政策局防災対策課

2 「感震ブレーカー」

消防局予防課

3 「緑と水辺とのかかわり」

都市局緑政課

4 「科学都市ちば」

教育委員会事務局生涯学習振興課

総合政策局市長公室広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果

	ページ
・ 概要 1
・ 災害への備え 2
・ 感震ブレーカー 6
・ 緑と水辺とのかかわり 8
・ 科学都市ちば 11
・ その他 13

回答者属性

回答者数	1,701人
------	--------

性別		
男性	808人	47.5%
女性	838人	49.3%
その他	10人	0.6%
未回答	45人	2.6%

職業		
会社員	532人	31.3%
自営・自由業	63人	3.7%
パート・アルバイト	327人	19.2%
公務員	100人	5.9%
学生	47人	2.8%
専業主婦・主夫	279人	16.4%
無職	309人	18.2%
その他	44人	2.6%

年代		
10代以下	26人	1.5%
20代	57人	3.4%
30代	156人	9.2%
40代	272人	16.0%
50代	467人	27.5%
60代	391人	23.0%
70代以上	332人	19.5%

居住区		
中央区	299人	17.6%
花見川区	241人	14.2%
稲毛区	284人	16.7%
若葉区	139人	8.2%
緑区	228人	13.4%
美浜区	460人	27.0%
市内在勤・在学	50人	2.9%

2024年度 第9回

調査名	「災害への備え」「感震ブレーカー」「緑と水辺とのかかわり」「科学都市ちば」
調査期間	令和6年12月27日(金)午前9時～令和7年1月10日(金)午後5時

概要:

<p>1「災害への備え」 近年、災害は激甚化・頻発化しており、令和元年の台風15号等の一連の風水害では、本市でも大きな被害がありました。 また、政府の地震調査委員会によると、今後30年以内に南関東地域でマグニチュード7クラスの地震が発生する確率は70%とされています。 いつ発生するかわからない災害に備えるため、皆さまの防災・減災への意識や取組みについてお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>2「感震ブレーカー」 感震ブレーカー※1に関する認知度や意識についてお聞かせいただき、設置推進などの施策の参考とさせていただきます。 ※1 大規模地震時に自動的に電気を遮断する装置。「分電盤タイプ(内蔵型、後付型)」「簡易タイプ(重り式、ばね式、電池式、コンセント式)」がある。(漏電を感知する漏電ブレーカーとは異なった装置。)</p> <p>3「緑と水辺とのかかわり」 緑と水辺のまちづくり活動についての考えをお聞きし、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>4「科学都市ちば」 科学※2に対するイメージや認知度、各種イベントの参加状況などをお聞かせいただき、「科学都市ちば」の実現に向けた参考とさせていただきます。 ※2 学問としての科学のほか、最先端技術や生命、自然、環境など、生活の中で広く活用させている取組み全般を指す。</p>

参考URL

https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/kikikanri/bosai/bousaigennsaitaisaku.html
https://www.city.chiba.jp/shobo/yobo/yobo/kansin-braker.html
https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/ryokusei/r5newurbangreenplanning.html
https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/scienceeducation.html

Q1: はじめに、「災害への備え」についてお聞きします。
地震や風水害などで自宅が損壊などの被害を受けた場合や倒壊するおそれがある場合は、どこに避難しますか。

(最大3つまで)(入力必須)	[n=1,701]	
避難所	1,114	65.5%
できる限り自宅に留まる	729	42.9%
親族宅	557	32.7%
自治会館・集会所	422	24.8%
車中	329	19.3%
宿泊所(ホテルなど)	256	15.0%
知人宅	46	2.7%
その他	23	1.4%

Q2: 非常時の持出品※3・備蓄品※4として、ご家庭でどのような物を準備していますか。
※3 自宅から避難する際にすぐに持ち出すことができる必要最低限の必需品。
※4 救援物資が届くまでの数日間、自足するために準備しておく食料・水・生活用品等。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,701]	
飲料水	1,431	84.1%
懐中電灯、ランタン、ろうそく、ライター	1,280	75.2%
食料	1,201	70.6%
マスク	1,144	67.3%
トイレトペーパー	875	51.4%
災害用トイレ	839	49.3%
スマートフォンの予備バッテリー、充電器	821	48.3%
携帯ラジオ	819	48.1%
衛生用品(ウェットティッシュ、除菌用アルコール)	819	48.1%
軍手	743	43.7%
歯ブラシ、洗面用具	742	43.6%
医薬品、救急用品(絆創膏、包帯など)	696	40.9%
カセットコンロ	652	38.3%
手指消毒用アルコール	615	36.2%
食品用ラップ	590	34.7%
使い捨て手袋	571	33.6%
下着類	481	28.3%
体温計	444	26.1%
スリッパなど室内履き	436	25.6%
ホイッスル	384	22.6%
毛布、衣類など	376	22.1%
ポリタンク	345	20.3%
ヘルメット、防災頭巾	316	18.6%
寝袋、テントなど	246	14.5%
おむつ	77	4.5%
粉ミルク、液体ミルク	16	0.9%
哺乳瓶	9	0.5%
アレルギー対応食品	2	0.1%
その他	65	3.8%
準備しているものはない	77	4.5%

Q3: ご家庭において、家具類の転倒・落下・移動防止対策(=家具転(かぐてん)対策)として何を行っていますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,701]

安全配置 (寝る場所、座る場所、通路や出入口などに家具類を置かない。置く場合には背の低いものにしたたり、倒れる向きを考慮したりする。)	928	54.6%
対策器具等による固定(転倒防止金具等を使って家具類を固定する)	727	42.7%
集中収納 (居住スペースと収納スペースを分けることで生活空間にある家具を減らす)	294	17.3%
ガラスの破損・飛散防止や棚等の収容物の飛び出し防止 (飛散防止フィルム、扉開放防止器具など)	217	12.8%
その他	25	1.5%
対策は行っていない →Q5へ	345	20.3%

Q4: 家具転対策を行ったきっかけは何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,356]

他地域の地震被害を知ったこと	874	64.5%
テレビ・書籍による紹介	475	35.0%
大地震を経験	386	28.5%
家族の勧め	155	11.4%
行政による啓発(説明会、訓練等)	107	7.9%
家具の転倒を経験	59	4.4%
民間事業者等の防災イベント	34	2.5%
知人等の勧め	19	1.4%
行政の制度(助成等)を知ったこと	14	1.0%
その他()※50字以内	17	1.3%

→Q 6-1へ

Q5: (Q3で「対策は行っていない」と回答した方)
その理由は何ですか。

(最大3つまで)(入力必須) [n=345]

つつい先延ばしにしている	196	56.8%
手間がかかる	104	30.1%
費用がかかる	82	23.8%
やり方が分からない	42	12.2%
借家のため対策器具等を壁や天井等に取り付けられない又は取り付けにくい	39	11.3%
壁に穴をあけたくない	35	10.1%
転倒するような家具類がない	28	8.1%
必要性を感じない	27	7.8%
自分ではできない	25	7.2%
部屋の見た目が悪くなる	6	1.7%
その他	16	4.6%

Q6-1: 下記の画像をご覧ください。千葉市では、地震情報や気象情報などの災害情報・緊急情報を総合的に提供するWebサイト「千葉市防災ポータルサイト」を提供しています。



Q6-2: 上記の「千葉市防災ポータルサイト」を知っていましたか。また知っていた場合の利用状況を教えてください。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,701]

知っていた(平常時から利用している)	170	10.0%
知っていた(災害発生時のみ利用している)	239	14.1%
知っていた(利用していない) →Q8へ	492	28.9%
知らなかった →Q8へ	800	47.0%

Q7-1: (Q6-2で「知っていた(平常時から利用している)」「知っていた(災害発生時のみ利用している)」と回答した方)画像をご覧ください。「千葉市防災ポータルサイト」にある関連サイトリンク集を令和6年8月にリニューアルしました。



Q7-2: リニューアルされた前と後でサイトの使いやすさについてどう思いますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=409]

使いやすくなった	125	30.6%
変わらない	81	19.8%
使いにくくなった	0	0.0%
リニューアルしたことを知らなかった	149	36.4%
リニューアル後使っていないのでわからない	54	13.2%

Q8: 次に、「感震ブレーカー」についてお聞きします。
感震ブレーカーという装置があることを知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,701]	
知っていた	922	54.2%
知らなかった	779	45.8%

Q9: 感震ブレーカーをご自宅に設置したいと思いますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,701]	
既に設置している	237	13.9%
今後設置したい	1,144	67.3%
設置したくない →Q11へ	320	18.8%

Q10-1: 感震ブレーカーの各タイプ別画像をご確認ください。



Q10-2: どのタイプをすでに設置していますか。または、今後設置したいですか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,381]	
①分電盤タイプ(内蔵型:約50,000円~80,000円)	155	11.2%
②分電盤タイプ(後付型:約20,000円~40,000円)	77	5.6%
③簡易タイプ(重り式:約3,000円)	186	13.5%
④簡易タイプ(ばね式:約4,000円)	72	5.2%
⑤簡易タイプ(電池式:約10,000円)	38	2.8%
⑥簡易タイプ(コンセント式:約10,000円)	42	3.0%
設置しているが、どのタイプかわからない	83	6.0%
設置したいが、どのタイプが良いかわからない	728	52.7%

→Q12へ

Q11: (Q9で「設置したくない」と回答した方)
設置したくない理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=320]	
設置方法がわからない	104	32.5%
効果に疑問を感じる	100	31.3%
値段が高い	86	26.9%
賃貸なので判断できない	86	26.9%
自分では取り付けられない	78	24.4%
販売場所がわからない	55	17.2%

Q12: 感震ブレーカーの簡易タイプは、ご自身で設置可能なものですが、この簡易タイプの取り付けを行うサービスがあったら利用したいですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,701]

有料でもしたい	165	9.7%
無料ならしたい →Q14	1,336	78.5%
したくない →Q14	200	11.8%

Q13: (Q12で「有料でもしたい」と回答した方)
どのくらいまでなら費用負担が可能ですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=165]

1,000円未満	12	7.3%
1,000円～2,000円未満	37	22.4%
2,000円～3,000円未満	75	45.5%
3,000円以上	41	24.8%

Q14:

次に、「緑と水辺とのかかわり」についてお聞きします。
過去5年間で「緑と水辺を守ったり、育てたり、学んだりする活動」(以下、「緑と水辺のまちづくり活動」)で参加したことがあるものを教えてください。

【選択肢補足】

- ※5 ボードに立ってバランスを取りながら、パドルを漕いで水面を進むアクティビティ。
- ※6 特定の生物群集が生存できるような環境条件を備えた均質な限られた生物生息空間。校庭などに造成された生物生息空間を指す場合もある。
- ※7 公園を地域の庭として、積極的に管理し、地域のために活用していく、魅力ある空間としていく活動。
- ※8 スマホアプリで、地域での困った課題(公園や水辺にごみが落ちているなど)や、市が投げかけたテーマに沿ったレポートをして、市民と市役所で情報を共有し、合理的・効率的に解決する仕組み。

(いくつでも)(必須入力)	[n=1,701]	
海辺での清掃ボランティア活動	160	9.4%
公園での清掃ボランティア活動	130	7.6%
海辺での自然観察会	101	5.9%
市民農園や貸農園などでの野菜づくり	97	5.7%
川辺での自然観察会	95	5.6%
植物園などでの緑や花に関する講習会	80	4.7%
街路樹の手入れ(剪定・刈込作業)や落ち葉清掃	77	4.5%
地域での花壇づくり活動	75	4.4%
海辺での体験活動(SUP(スタンドアップパドルボード)※5の体験教室など)	63	3.7%
公園でのマルシェなどのイベントの開催、清掃・草刈・剪定等の一体的な管理(パークマネジメント※7)	59	3.5%
川辺での体験活動(カヤック体験など)	58	3.4%
川辺での清掃ボランティア活動	54	3.2%
「ちばレポ※8」を活用した、緑や水辺に関する投稿、課題解決の実践	43	2.5%
谷津田や森林(里山、雑木林)での保全活動	37	2.2%
「ちばレポ」を活用した、身近な生き物さがし	35	2.1%
川辺でのビオトープ※6保全活動	32	1.9%
私有地を地域の庭として貸し出す活動	10	0.6%
その他()※50字以内	4	0.2%
1つもない →Q16へ	1,094	64.3%

Q15:

(Q14で「1つもない」以外と答えた方)
「緑と水辺のまちづくり活動」は何で知りましたか。

(いくつでも)(必須入力)	[n=607]	
広報誌(市政だよりやパンフレットなど)を見た	354	58.3%
ホームページを見た	118	19.4%
町内自治会等からのチラシを見た	89	14.7%
SNS(XやFacebookなど)を見た	46	7.6%
実際に活動している場所を見た	44	7.2%
活動に参加している人から誘われた	43	7.1%
活動を昔から続けているので、上記にあてはまるものがない	27	4.4%
学校などの教育機関からのチラシで見た	26	4.3%
動画(YouTubeなど)を見た	13	2.1%
その他	50	8.2%

→Q17へ

Q16: (Q14で「一つもない」と答えた方)
 緑と水辺のまちづくり活動に参加したことがない理由は何ですか。

(いくつでも)(必須入力) [n=1,094]

緑と水辺のまちづくり活動が行われていることを知らなかった	438	40.0%
興味や関心が湧かなかった	356	32.5%
参加したかったが、時間がなかった(時間帯が合わなかった)	231	21.1%
参加したかったが、体力、健康面で不安があった	128	11.7%
活動に参加することのメリットを感じなかった	93	8.5%
参加したかったが、コロナ禍で他人との接触をさけたかった	62	5.7%
参加したかったが、誰に聞いて良いかわからなかった	61	5.6%
参加したかったが、活動に強制力を感じた	13	1.2%
その他()※50字以内	38	3.5%

Q17: 緑と水辺のまちづくり活動で、今後参加したい、またはこれからも参加したいと思うものを教えてください。

(いくつでも)(必須入力) [n=1,701]

海辺での清掃ボランティア活動	356	20.9%
川辺での自然観察会	325	19.1%
海辺での自然観察会	313	18.4%
公園での清掃ボランティア活動	296	17.4%
植物園などでの緑や花に関する講習会	254	14.9%
海辺での体験活動(SUP(スタンドアップパドルボード)の体験教室など)	236	13.9%
市民農園や貸農園などでの野菜づくり	221	13.0%
川辺での体験活動(カヤック体験など)	209	12.3%
地域での花壇づくり活動	196	11.5%
公園でのマルシェやイベントの開催、清掃・草刈・剪定等の一体的な管理(パークマネジメント)	191	11.2%
川辺での清掃ボランティア活動	190	11.2%
街路樹の手入れ(剪定・刈込作業)や落ち葉清掃	138	8.1%
「ちばレポ」を活用した、緑や水辺に関する投稿、課題解決の実践	122	7.2%
「ちばレポ」を活用した、身近な生き物さがし	102	6.0%
谷津田や森林(里山、雑木林)での保全活動	86	5.1%
川辺でのビオトープ保全活動	83	4.9%
私有地を地域の庭として貸し出す活動	15	0.9%
その他()※50字以内	14	0.8%
一つもない	333	19.6%

Q18: 今後どのようなことがあれば、緑と水辺のまちづくり活動に参加したい、または参加し続けたいと思いますか。

(いくつでも)(必須入力) [n=1,701]

参加すると「ちばシティポイント」が貯まる	833	49.0%
参加しやすい曜日、日時で実施される	634	37.3%
活動を知る機会が増える(広報の充実など)	617	36.3%
参加を強制されない	452	26.6%
自分の興味・関心などにあった活動の紹介窓口がある	344	20.2%
参加したいときの事前登録が不要	323	19.0%
子どもと参加できる	221	13.0%
参加者から話を聞く機会がある、体験会がある	101	5.9%
打合せや会議のオンライン化で活動が効率化する	55	3.2%
参加したいと思わない	177	10.4%
その他()※50字以内	17	1.0%

Q19: 緑と水辺のまちづくり活動の「募集情報」について、どのような広報が効果的だと思いますか。

(いくつでも)(必須入力) [n=1,701]

ちば市政だよりでの周知・啓発	1,360	80.0%
ホームページでの周知・啓発	635	37.3%
ポスターやチラシなどの掲示物での周知・啓発	459	27.0%
SNS(LINE)での周知・啓発	337	19.8%
イベントでの周知・啓発	296	17.4%
学校などの教育機関での周知・啓発	294	17.3%
SNS(X)での周知・啓発	245	14.4%
新聞や雑誌などの記事での周知・啓発	221	13.0%
SNS(instagram)での周知・啓発	191	11.2%
動画(YouTube)での周知・啓発	181	10.6%
テレビでの周知・啓発	166	9.8%
SNS(Facebook)での周知・啓発	122	7.2%
ラジオでの周知・啓発	96	5.6%
家族や知人からの情報	81	4.8%
その他()※30字以内	18	1.1%

Q20: 自然が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める考え方である「グリーンインフラ※9」を知っていましたか。
 ※9 自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,701]

言葉を知っており、考え方を他人に説明することができる	30	1.8%
言葉は知っており、大まかな考え方を知っている	139	8.2%
言葉は知っているが、考え方を知らなかった	222	13.1%
知らなかった	1,310	77.0%

Q21: 最後に、「科学都市ちば」についてお聞きます。
本市では、産業界、大学などの研究機関、市民団体などが連携を深め、人材の輩出や産業・技術の振興などを行い、未来に希望を持てるまちづくりとして「科学都市ちば」を目指していますが、この取り組みを知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,701]		
知っていた(内容も知っていた)	173	10.2%
知っていた(内容は知らなかった)	374	22.0%
知らなかった	1,154	67.8%

Q22: 千葉市科学館に行ったことがありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,701]		
ある →Q24へ	1,131	66.5%
ない	570	33.5%

Q23: (Q22で「ない」と回答した方)
その理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=570]		
行くきっかけがない	324	56.8%
場所がわからない	121	21.2%
時間がない	82	14.4%
千葉市科学館を知らない	82	14.4%
場所が不便	66	11.6%
子ども向けの施設だと思う	60	10.5%
駐車場が有料	54	9.5%
科学に興味がない	31	5.4%
料金が安い	30	5.3%
子どもがまだ小さい	20	3.5%
展示物に魅力がない	10	1.8%
プラネタリウムの番組に魅力がない	6	1.1%
その他	14	2.5%

Q24: 本市では、「科学都市ちば」の一環として「科学フェスタ2024※10」を開催しましたが、このイベントを知っていましたか。
※10 日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学の祭典。今年度は10月12日(土)、13日(日)にきぼーるでメインイベントを開催し、科学体験ブース、実験・工作教室、科学館無料開放などを実施。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,701]		
知っていた(内容も知っていた)	231	13.6%
知っていた(内容は知らなかった) →Q27へ	262	15.4%
知らなかった →Q27へ	1,208	71.0%

Q25: (Q24で「知っていた(内容も知っていた)」と回答した方)
「科学フェスタ2024」の10月12日、13日に科学館で実施したメインイベントに参加しましたか。

(1つだけ)(入力必須) [n=231]		
参加した →Q27へ	36	15.6%
参加しなかった	195	84.4%

Q26: (Q25で「参加しなかった」と回答した方)
参加しなかった理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=195]

都合が合わなかった	90	46.2%
時間がない	63	32.3%
子ども向けのイベントだと思う	26	13.3%
混雑していそう	26	13.3%
行くきっかけがない	25	12.8%
場所が不便	23	11.8%
駐車場が有料	16	8.2%
開催日時などを知らなかった	10	5.1%
感染症予防	9	4.6%
子どもがまだ小さい	8	4.1%
科学に興味がない	8	4.1%
整理券の配付が終わっていた、事前申込の人数がいっぱいだった	8	4.1%
おもしろいイベントがなかった	7	3.6%
内容が難しそうだった	5	2.6%
その他	6	3.1%

Q27: 科学に関することで、本市に期待するものは何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,701]

子どもの科学への興味を高める	911	53.6%
環境問題への取組み	664	39.0%
産業振興への支援(先端技術開発 など)	577	33.9%
科学の学習機会充実(市民向けの講座 など)	502	29.5%
学校教育における科学分野の充実	455	26.7%
科学館の展示物の充実	417	24.5%
大学や企業との共同研究	361	21.2%
企業・研究機関の取組みの紹介	281	16.5%
特にない	133	7.8%
その他	17	1.0%

その他

Q4: 家具転対策を行ったきっかけは何ですか。

【その他 主な意見】

・ 新築時に全て備え付け家具のみにした。(2件)
・ 引越し。(2件)
・ 元市長の時、Xでツイートされていたのを読んで、すぐに対応しました。
・ 壁掛けのために、壁裏の構造を観察したため。
・ 減災の考え方を知ったから。
・ 自治会の啓蒙や防災訓練。
・ 自身が防災士であるため。
・ 本所消防署の見学、体験。
・ 職場で補助金が出た。
・ マンション防災会。
・ 阪神淡路地震。

Q14: 過去5年間で「緑と水辺を守ったり、育てたり、学んだりする活動」(以下、「緑と水辺のまちづくり活動」)で参加したことがあるものを教えてください。

【その他 主な意見】

・ 独自で草野水路沿いの遊歩道や近隣の公園の清掃活動をしている。
・ 野菜収穫体験。
・ 海中清掃。

Q16: (Q14で「1つもない」と答えた方)
 緑と水辺のまちづくり活動に参加したことがない理由は何ですか。

【その他 主な意見】

・ 小さい子供がいるので。(4件)
・ 知らなかった。(3件)
・ 時間がない。(3件)
・ 清掃はボランティアではなく、専門業者に行政が適正な価格で依頼すべき。無償でやろうと思わない方がいい。
・ ボランティア活動には参加していないが、家族で海に行った時に、ゴミ袋を持参してゴミ拾いをすることはある。
・ 高齢の方がグループ作って活動していそうで、ひとりボッチが居たたまれない。
・ 参加したほうが良いのは分かっているが、なかなか休みが合わない。
・ 参加したかった訳では無いが、そもそも体力面で無理だと思った。
・ 子供向けのものや、子供が参加したがるものがない。
・ 年を取ると新たな行動を起こすのが面倒になる。
・ そんな無駄なことに使うほど生活に余裕がない。
・ 家人の介護で遠方や長時間の外出が難しい。
・ 参加するには家族の介護見守りが必要。
・ 現地に行くまでの交通手段が無いため。
・ 自宅の庭の手入れで他までは難しい。
・ 個人的にゴミ払いは行っている。
・ 介護、仕事で時間がなかった。
・ 仕事上、参加が困難なため。
・ 近くにその様な場所が無い。
・ なんとなくハードルが高い。
・ 人と関わるのが面倒。
・ 一人だと行きづらい。
・ 平日の開催がない。
・ 転居してきたから。
・ 子育てで忙しく。
・ コミュ症。

Q17: 緑と水辺のまちづくり活動で、今後参加したい、またはこれからも参加したいと思うものを教えてください。

【その他 主な意見】

・	私有地から草木が公道まで伸び、それを避ける通行人は車と接触する危険にさらされていることの周知活動。
・	町内会の清掃活動に参加し、自宅の植栽を維持することで緑のまちづくりの一部になっていると考える。
・	自転車やウォーキングで行ける範囲の活動。
・	生活困窮者向けの炊き出しや物資の配布。
・	子供と一緒に気軽に参加できる企画。
・	寄付。

Q18: 今後どのようなことがあれば、緑と水辺のまちづくり活動に参加したい、または参加し続けたいと思いますか。

【その他 主な意見】

・	景気が良くなって、懐具合に余裕が出来れば。または年金のみで生活できる年齢及び支給状況になれば。
・	足が悪いので、そういう方でも参加可能なもの、又はその場所まで車等で行ける事。
・	個別に好きな時間に出来て、ゴミ袋配布してくれるなら参加してもよい。
・	「緑と水辺のまちづくり活動基金(仮称)」への寄付。
・	体力時間お金が無くても出来るならば。
・	短時間参加も可能など、融通が利く。
・	コミュニケーション支援があること。
・	自分の出来る時に出来ることのみ。
・	生活困窮者向け支援。
・	参加しやすい場所。
・	平日の開催。

Q19: 緑と水辺のまちづくり活動の「募集情報」について、どのような広報が効果的だと思いますか。

【その他 主な意見】

・	公民館、図書館、等の市の施設に掲示あるいはピラを置く。
・	ショッピングモールなどにポスター掲示する。
・	町内会の集まりの時にいつでもお知らせする。
・	コンビニ等のデジタルサイネージでの広告。
・	BlueSkyやMastodon/Misskeyでの周知。
・	自治会からの取り組みやお誘い。
・	スーパーマーケットの店内放送。
・	公民館からのお知らせなど。
・	イオンなどの入り口掲示。
・	お店での情報提供。
・	回覧板。